日米豪共同訓練（武士道ガーディアン２５）の実施について

9月30日、航空総隊司令官 谷嶋 正仁 空将、米空軍第35戦闘航空団司令官 ポール・T・デイヴィッドソン空軍大佐、豪空軍副本部長ハーヴェイ・レイノルズ空軍少将は、日米豪共同訓練（武士道ガーディアン２５）を実施している三沢基地において、部隊視察を行うとともに、合同で記者会見を行いました。各指揮官は、F-35Aを用いた日米豪３か国による訓練を日本で初めて実施したことに触れ、日米豪３か国の連携の重要性等を確認しました。

航空自衛隊は、日米豪共同訓練を通じ、相互運用性を向上させるとともに、引き続き３か国の空軍種間の緊密な連携を通じ、インド太平洋地域の平和と安定に寄与してまいります。